

# SDGs達成に向けた取組み



住友生命は「CSR経営方針」に基づき、CSR経営を推進する上で重要となる項目（CSR重要項目）を定めています。CSR重要項目は、当社のCSR経営を推進する上で重要となるだけでなく、SDGs達成にもつながります。そこで、CSR重要項目に対して、達成に向けて取り組むSDGsと主な取組みを整理することで、当社が重点的に取り組む課題を明確にしています。

## CSR経営方針とCSR重要項目

住友生命は、経営方針のひとつとして「CSR経営方針」を策定し、CSR経営を推進しています。

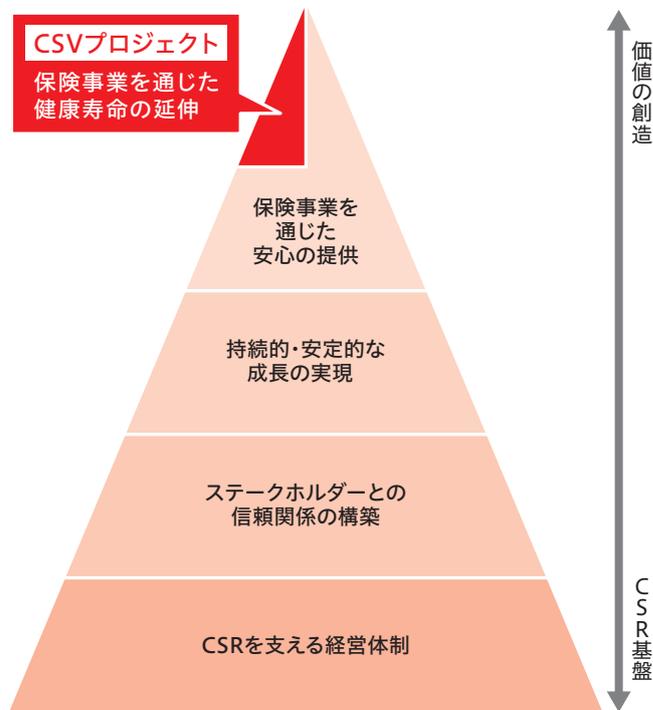
この「CSR経営方針」に基づき、5つのCSR重要項目を定めています。

### — CSR経営方針 —

住友生命は保険事業の健全な運営とその発展を通じて、豊かで明るい長寿社会の実現に貢献します。この理念のもと、誠実な業務遂行・健全な財務基盤を通じ、お客さまをはじめとした各ステークホルダーに最も信頼・支持され、持続的・安定的に成長する会社を目指します。

- **お客さまへ**  
お客さまからの信頼をあらゆる活動の起点とし、保険事業の健全な運営を通じて、一人ひとりに最適な生活保障サービスを提供します。
- **ビジネスパートナーへ**  
ビジネスパートナーの信頼・支持を得て、ともに社会的責任を果たします。
- **従業員へ**  
従業員一人ひとりが誇りと自信をもっていきいきと働き続けられる会社づくりに取り組みます。自由闊達でチャレンジ意欲あふれる組織風土を大切にします。
- **社会へ**  
社会の一員としての役割と責任を認識し、健康で心豊かな社会づくりと地域社会・国際社会の発展に貢献します。
- **地球環境へ**  
健康な暮らしを支えるため、事業活動において常に地球環境への影響に配慮し、その保護に積極的に取り組みます。

### — CSR重要項目 —



### SDGs

SDGsとは2015年の国連サミットにて採択された2030年までの国際開発目標です。環境・社会・経済の側面を重視した持続可能な社会を実現するために全ての国が取り

組むべき普遍的（ユニバーサル）な目標であり、17の目標（ゴール）および169のターゲットが設定されています。

## CSR重要項目とSDGs

5つのCSR重要項目を通じて主に貢献するSDGsと、主な取組みは以下のとおりです。なお、これらの取組

みについては、SDGs達成へ向けた指標を設定の上、推進しています。(詳細はP35参照)

CSR重要項目	主に貢献するSDGs	主な取組み(詳細ページ)
保険事業を通じた健康寿命の延伸		<ul style="list-style-type: none"> <li>● “住友生命「Vitality」”に関する事業を推進(P39)</li> <li>● “住友生命「Vitality」”を広く社会に向けて発信するための取組みや、商品、プログラムメニュー、特典(リワード)の進化に資する取組みなどを実施</li> </ul>
保険事業を通じた安心の提供		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人生100年時代を見据えたサービスや情報提供の推進</li> <li>● お客さまに提供する商品・サービスや情報提供等をさらに進化させ、超高齢社会の社会的課題解決へ取り組む</li> </ul>
持続的・安定的な成長の実現	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 働き方の変革(P64)</li> <li>● 柔軟で多様な人材の採用育成</li> <li>● 協業等によるビジネスパートナーとの共生(P43、61)</li> <li>● 持続的な社会実現に向けたESG投融资推進(P56)</li> <li>● オープンイノベーションによる新たな価値創造(P43)</li> <li>● 事業展開インフラ(IT等)の強化(P44)</li> </ul>
ステークホルダーとの信頼関係の構築	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 金融リテラシー教育の推進</li> <li>● 地球環境の保護(P68)</li> <li>● 社会貢献活動の推進、地方自治体との連携(P69)</li> </ul>
CSRを支える経営体制	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コーポレートガバナンスの強化(P73)</li> <li>● コンプライアンスへの取組み(P87)</li> <li>● 人権への取組み</li> <li>● 個人情報保護への取組み</li> <li>● ERMの高度化(P66)</li> <li>● リスク管理体制の整備・高度化(P88)</li> </ul>

### CSR重要項目の選定プロセス

#### 1. CSR関連項目の洗い出し

国際的な各種ガイドライン等、外部リソースによる助言等を参考に、CSRに関連すると考えられる項目の洗い出しを行いました。さらに、項目の集約と修正を行い調査の対象とする項目を抽出し整理しました。

#### 2. 社内外の評価に基づく絞り込み

「1. CSR関連項目の洗い出し」で抽出した項目について社内外からの意見を反映し、「ステークホルダー視点」「当社事業視点」の両軸から優先順位付けを行いました。両軸からの優先順位をもとに、ステークホルダーと当社双方から見えて特に重要度の高い16項目を選定しました。

#### 3. CSR経営方針に基づいたCSR重要項目の検証

本プロセスから導かれた16項目が5つのCSR重要項目に当てはまることを確認し、その妥当性を検証しました。

CSR関連項目  
(148項目)

特に重要度の高い項目  
(16項目)

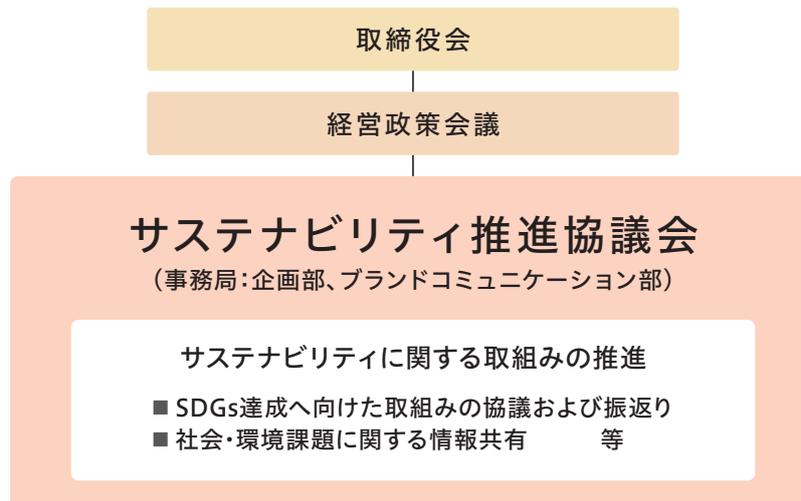
CSR重要項目  
(5項目)

## 推進体制

SDGsをはじめとする社会・環境課題に対しては、「サステナビリティ推進協議会」を設置し、情報の共有および課題解決に向けた取組みを推進しています。

本協議会は、年2回を基本に年間を通じて開催して

おり、議論の内容については、社長の諮問機関である経営政策会議での審議を行うとともに、取締役会への報告を行う体制を整備しています。



サステナビリティに関する取組みの推進やSDGs達成に向けた貢献を事業活動において具体化するため、『スミセイ中期経営計画2022』においても、社会への貢献、あるいは社会から信頼される会社づくりに注力することを宣言しています。

サステナビリティに関する取組状況については、当社公式ホームページ内「サステナビリティ」ページで開示を行っています。引き続き、適時適切な情報開示に努めていきます。

### サステナビリティ推進協議会の概要

サステナビリティ推進協議会は、社長をはじめ関係部門を担当する執行役等で構成しています。

社会や環境を取り巻く状況は常に変化していきな、社会からの要請に照らしてサステナビリティに関する自

社の取組みの見直しや強化の必要性について検討するなど、部門横断的にPDCAをまわす体制を構築しています。

### 開催報告(2020年3月開催)

2020年3月に開催したサステナビリティ推進協議会では、SDGsをはじめとする社会・環境課題や気候変動問題を取り巻く国内外の情勢の変化・進展状況について共有を行いました。また、当社が優先的に取り組むSDGsと具体的な取組指標等について協議を行いました。

なお、同協議会での協議結果を踏まえて「SDGs達成に向けた重要課題への取組み-2020年度取組方針-」(詳細はP35)を決定し、2020年4月から当社公式ホームページ上でも開示を行っています。

### 2020年3月 サステナビリティ推進協議会の内容

- ▶SDGsや気候変動問題を取り巻く環境について報告
- ▶SDGs達成に向けた取組みに関する指標設定について協議
- ▶気候変動への対応に係る取組みについて協議
- ▶ディスクロズ、社内教育実施の方向性について協議

## SDGs達成に向けた重要課題への取組み -2020年度取組方針-

CSR重要項目	目指す姿	主な取組内容	取組指標 <small>目標:⇒で表記</small>
保険事業を通じた健康寿命の延伸	いつまでも安心して健康に暮らすことができる社会の実現に向けて、保険事業を通じて、日本の健康寿命の延伸に貢献する	“住友生命「Vitality」”に関する事業を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康増進を軸としたCSVプロジェクトの推進</li> </ul>
保険事業を通じた安心の提供	お客さま本位の経営の推進を通じて、すべての人々に適切な生命保険商品・サービス、その先にある安心を提供する	人生100年時代を見据えたサービスや情報提供の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会課題の解決に資する商品・サービスの提供</li> <li>○超高齢社会における役割発揮に資する取組みの推進</li> <li>○人ならではの価値にデジタルを融合した、お客さまの状況・状態に応じた最適な商品・サービスの提供</li> <li>○「お客さま本位の業務運営方針」に基づく取組みの更なる推進</li> </ul>
持続的・安定的な成長の実現	時代を超えて受け継ぐべき経営方針の下、社会の変化・変革に対応して着実に成長し続ける	働き方の変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークライフバランスの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒男性育児休業取得率:100%</li> <li>⇒働き方変革を実感できている職員の割合:90%以上(2022年度)</li> <li>⇒お客さま・マーケット目線で仕事ができている職員の割合:80%以上(2022年度)</li> <li>⇒有給休暇年間17日以上取得者の割合:80%(2022年度)</li> </ul> </li> </ul>
		柔軟で多様な人材の採用育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性活躍の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒女性管理職比率:33%以上</li> </ul> </li> <li>○障害者雇用の促進(法定雇用率に即した取組み)</li> </ul>
		協業等によるビジネスパートナーとの共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての取引先企業との健全な関係の維持</li> <li>○業務提携を通じた商品・サービスの提供、金融機関等とのパートナーシップの強化</li> </ul>
		持続的な社会実現に向けたESG投融資推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定量的情報に加え、ESG情報を活用した投融資判断の実行</li> <li>○投資先企業のESG課題を踏まえたエンゲージメント活動の推進</li> <li>○ESG課題の解決を目的とした債券(ESG債)等への投融資の実行 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ESG債等への投融資目標:3,000億円(3カ年累計)</li> </ul> </li> </ul>
		オープンイノベーションによる新たな価値創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オープンイノベーション・デジタルイノベーションの推進等を通じた、お客さまや社会に対する新しい提供価値の創造</li> </ul>
		事業展開インフラ(IT等)の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス品質の継続的な維持・向上やコスト抑制に資するインフラ投資の実行</li> </ul>

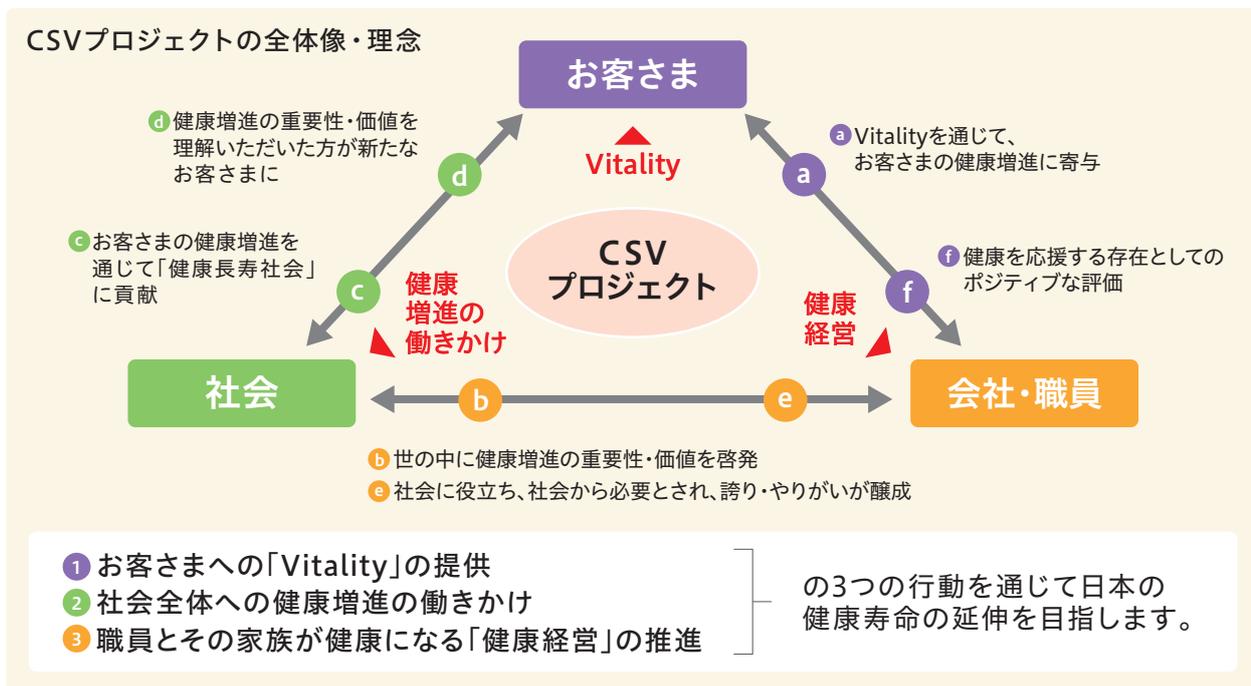
## SDGs達成に向けた重要課題への取組み -2020年度取組方針-

CSR重要項目	目指す姿	主な取組内容	取組指標 目標：⇒で表記
ステークホルダーとの信頼関係の構築	ステークホルダーからの期待に応え、ステークホルダーに信頼・支持される会社を目指す	金融リテラシー教育の推進	○社外における寄付講座の実施、あらゆる世代に対する生命保険や生活設計に関する理解の促進
		地球環境の保護	○事業活動における省エネ・省資源、気候変動問題への取組みや環境保護活動の推進 ⇒CO2排出量:2013年度比40%削減(2030年度)
		社会貢献活動の推進、地方自治体との連携	○地域・社会への貢献の推進 ⇒スマセイヒューマニー活動(職員ボランティア)所属参加率:100%
			○各自治体との連携の推進(自治体連携の状況)
CSRを支える経営体制	誠実な業務遂行・健全な財務基盤の構築を行い、持続可能な社会づくりに貢献する	コーポレートガバナンスの強化	○透明性が高い相互会社組織の実現を通じた、お客さまの声を大切にしている会社の実現
		コンプライアンス、個人情報保護への取組み	○コンプライアンス態勢の推進と、コンプライアンス・マインドの醸成
			○反社会的勢力との関係遮断
			○制度・教育・ネットワークを通じた個人情報の厳正な管理とセキュリティの更なる推進
		人権への取組み	○職員の人権意識高揚と人権を尊重する職場風土づくりの推進
ERM(リスク管理体制を含む)の高度化	○リスクリターン指標の活用や資本配賦運営の着実な実行と、実効性を踏まえたレベルアップ  ○リスクと自己資本のバランスを適切にコントロール		
中期経営計画の着実な実行	(同左)	<p>○中期経営計画KGI</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒お客さま数(保有契約件数): 1,422万件(2022年度)<sup>※1</sup></li> <li>⇒保有契約年換算保険料: 2兆3,600億円(2022年度)<sup>※2</sup> うち、生前給付保障・医療保障等: 6,200億円(2022年度)<sup>※2</sup></li> <li>⇒国内事業基礎利益: 9,220億円(3か年累計)<sup>※2</sup></li> <li>⇒海外事業基礎利益: 1,410億円(3か年累計)<sup>※3</sup></li> </ul> <p>※1:住友生命+メディケア生命+業務提携先。個人保険・個人年金の件数。業務提携先(三井住友海上火災、エヌエヌ生命、ソニー生命)から提供を受けている商品を含む。 ※2:住友生命+メディケア生命。 ※3:シメトラ他。</p>	

## 社会課題解決への取組み – CSVプロジェクト –

当社の企業理念「経営の要旨」では、社会に貢献するという目的へ向けて、変化する時代・事態の中で本質を見極めることの大切さを説いています。SDGsに代表されるように、現代社会における社会課題は多様化・複雑化しています。こうした課題による影響を見極め、当社のレジリエンスを高めるとともに、課題解決へ向けた取組みを進めることが重要であると考えています。

住友生命は、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”を軸に、社会全体への健康増進の働きかけや、健康経営の推進を行うことで、「健康寿命の延伸」という社会課題の解決に取り組んでいます。この取組みを「CSV※プロジェクト」と位置づけ、「お客さま」・「社会」・「会社・職員」とともに、健康増進という新しい共有価値を創造することで、「日本の健康寿命の延伸」を目指しています。



※CSVとは「Creating Shared Value」の略語で、「共有価値の創造」を意味しており、本業で社会的課題に取り組み、「社会問題の解決」と「企業価値の向上」を両立させることを指しています。

### 1 お客さまへの「Vitality」の提供

CSVプロジェクトの軸となる、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”の提供を通じて、継続的な健康増進活動への取組みを促すことによる健康状態の向上

を実現し、日本の健康寿命の延伸に寄与することを目指しています。(P39参照)

### 2 社会全体への健康増進の働きかけ

健康増進をテーマとした社会貢献事業である「スミセイ“Vitality Action”」では、自治体や財団、研究者、アスリート等の皆さまからご協力を得ながら、健康増進に関する「行動促進」と「理解促進」に取り組んでおり、これらの活動を通じて社会全体への健康増

進の働きかけを行っています。(P69参照)

また、企業さまの健康経営をサポートするため、健康経営に関する情報提供や、従業員さま向けの健康増進セミナー等を実施しています。(P49参照)

### 3 職員とその家族が健康になる「健康経営」の推進

「住友生命グループ健康経営宣言」のもと、一人ひとりが主体的に健康維持・増進に取り組むことができる「いきいきと働き続けられる会社」を実現するた

めに、職員やその家族の健康維持・増進への取組みを全力でサポートするなど、「健康経営」を推進しています。(P65参照)

## CSVプロジェクトの新たな取り組み ～parkrun日本初上陸～



## 1 「parkrun(パークラン)」とは

parkrunは、Webサイトで一度会員登録すれば、世界中の好きな開催地域(公園等)で好きな週末に、無料で参加することができます。parkrunには大人から子どもまで、どなたでも気軽に参加することができ、習慣的に集い楽しみながら運動する場となることで、人々の健康増進に寄与し、地域コミュニティ形成にも繋がる取り組みです。現在、parkrunは世界22カ国、毎週2,000カ所以上で開催され、参加者、それを支える運営ボランティアとして毎週30万人以上の人々が参加

しています。

住友生命は、2019年4月に英国の非営利団体 parkrun Global(創始者 Paul Sinton-Hewitt CBE)とパートナーシップを結び、日本における唯一のオフィシャルスポンサーとして、日本国内でのparkrun展開を全面的にサポートしています。2020年6月現在、日本初上陸である二子玉川公園(東京)を始めとして、全国14カ所で開催しており、順次日本全国に展開していきます。

## 2 CSVプロジェクトにおいて「parkrun」に取り組む意義

parkrunは、CSVプロジェクトにおいて「お客さま」・「社会」・「会社・職員」すべてに働きかけることのできる重要な取り組みと捉えています。「お客さま」においては、Vitality会員の方がparkrunへの参加・完走(完歩)すると、Vitalityポイントを獲得でき、Vitalityの役割である健康増進活動をサポートする機会として活用しています。「社会」においては、地域における幅広い方々に向けた運動習慣機会の創出、および地域コミュ

ニティ形成支援となることを目指しています。「会社・職員」においては、職員が家族とともに自らが健康増進に取り組む活動としてランナー・ウォーカー・ボランティアへの参画を推進しています。

parkrunを通じた「お客さま」「社会」「会社・職員」全方位への取り組みを推進し、CSVプロジェクトの理念である「日本の健康寿命の延伸」を目指していきます。



## CSVプロジェクトの社外からの評価 [受賞(認定)年月/受賞対象]

- 2018年日経優秀製品・サービス賞  
最優秀賞  
日経ヴェリタス賞受賞  
[2019年1月/“住友生命「Vitality」”]



- 第7回健康寿命をのばそう! アワード  
【生活習慣病予防分野】  
厚生労働大臣最優秀賞受賞  
[2018年11月/CSVプロジェクト]



- スポーツ庁長官感謝状受賞  
[2018年7月  
/スミセイ“Vitality Action”]



- 第7回スポーツ振興賞  
「経済産業省  
商務・サービス審議官賞」受賞  
[2019年4月  
/スミセイ“Vitality Action”]



- 神奈川県「ME-BYO BRAND」認定  
[2019年3月  
/“住友生命「Vitality」”]

